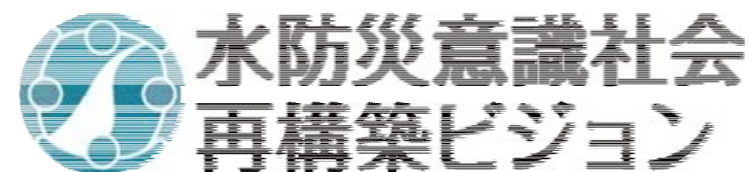


淀川管内水害に強い地域づくり 協議会の活動内容について



①平成28年度の活動内容

①平成28年度の活動内容

■本協議会の大阪府域における各種会議の開催

平成28年度には、行政ワーキング会議、首長会議、ブロック別会議、担当者会議の各種会議を計11回(大阪府域)開催しました。「水防災意識社会再構築ビジョン」の位置づけの確認や、「水ビジョン」に基づいた取組方針の検討、タイムライン(防災行動計画)(案)の策定を主な議題としました。

会議名	実施回数	開催時期
首長会議	1回	平成28年 8月31日(水)
行政ワーキング会議	3回	平成28年 6月 2日(木) 平成28年 7月28日(木) 平成29年 3月21日(火)
ブロック別会議	2回	平成29年 1月24日(火) 平成29年 1月30日(月)
担当者会議	5回	平成28年 5月17日(火) 平成28年 5月18日(水) 平成28年 7月19日(火) 平成28年 8月10日(水) 平成28年10月 3日(月)



首長会議



行政ワーキング会議



ブロック別会議



担当者会議

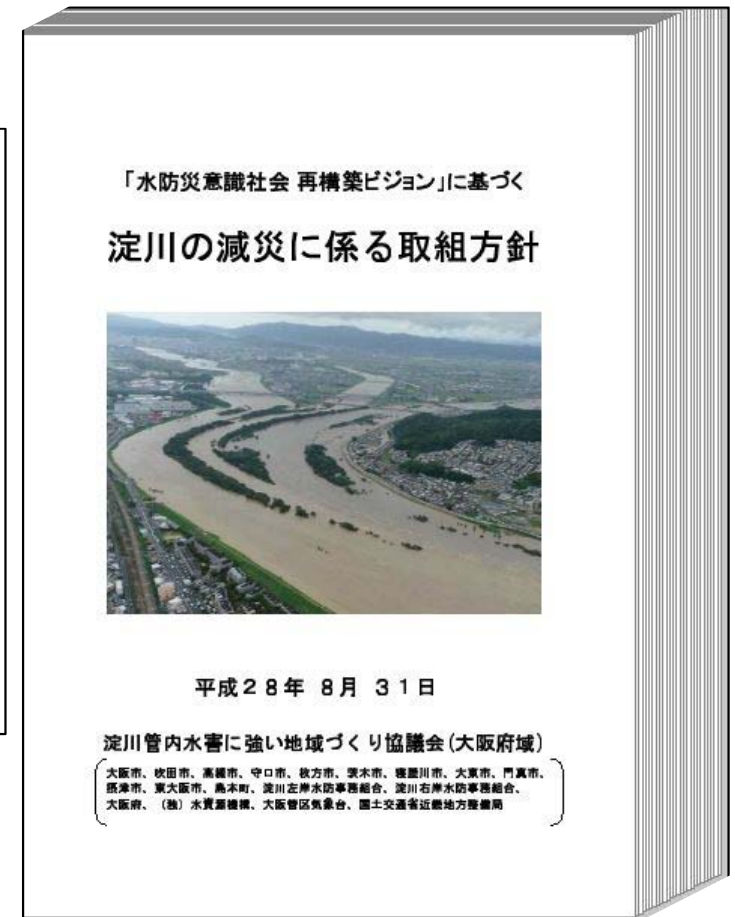
■水防災意識社会再構築ビジョンに基づく活動について(1/2)

水防災意識社会再構築ビジョンに基づき、現状と課題、減災のための目標、目標達成に向けた取組の進め方、概ね5年で実施する取組についてとりまとめ、減災に係る「**取組方針**」を策定しました。



京都府域

目次	
1. はじめに	1
2. 本協議会の構成委員	3
3. 淀川水系の概要と主な課題	4
4. 現状の取組状況及び課題	7
1) 情報伝達、避難計画等に関する事項の現状と課題	7
2) 水防に関する事項の現状と課題	10
3) 氾濫水の排水に関する事項	11
4) 河川管理施設の整備について	11
5. 減災のための目標	12
6. 淀川管内における目標達成に向けた取組の進め方	13
7. 概ね5年で実施する取組	14
1) ハード対策の主な取組	14
2) ソフト対策の主な取組	16
8. フォローアップ	24



大阪府域

①平成28年度の活動内容

■水防災意識社会再構築ビジョンに基づく活動について(2/2)

減災のための目標(5年間で達成すべき目標)

淀川管内における流域特性や平成25年台風第18号及び平成27年9月関東・東北豪雨の教訓を踏まえ、淀川管内で発生しうる大規模水害に対し、「逃げる・防ぐ・取り戻す」ことを目指す。加えて、次世代に「水害に強い地域」と水防災意識を「継承」する。

目標を達成するために概ね5年間で実施する具体的な取組(案)

1. ハード対策の主な取組

- 洪水を河川内で安全に流す対策
- 危機管理型ハード対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2. ソフト対策の主な取組

① 地域ごとの特性に応じた避難方法を踏まえ、住民の主体的かつ適切な避難行動を促すための取組

■ 想定最大規模洪水を対象とした水害ハザードマップの策定・周知等

- 水害ハザードマップの更新・周知
- 避難に資するマップ等の整備・拡充
- ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

■ 適切な避難行動の実現に向けた取組

- 避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備
- 関係機関との情報共有体制の整備
- 避難計画等の策定
- 避難訓練の実施
- 避難誘導體制の整備

■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)

■ 防災教育や防災知識の普及

- 住民等を対象とした水防災に関する講習会等の開催
- 小学生や教員を対象とした水防災に関する講習会等の実施

■ 避難行動のための情報発信等の充実

- 避難行動に資する情報発信等の充実

② 発災時に可能な限りの避難時間を確保し、人命と財産を守るための水防活動強化の取組

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 市町と水防事務組合(水防団(消防団))の連絡体制の再確認等
- 水防事務組合(水防団(消防団))や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施
- 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定の促進

③ 一刻も早い生活再建及び都市機能・社会経済活動の回復のための排水活動強化の取組

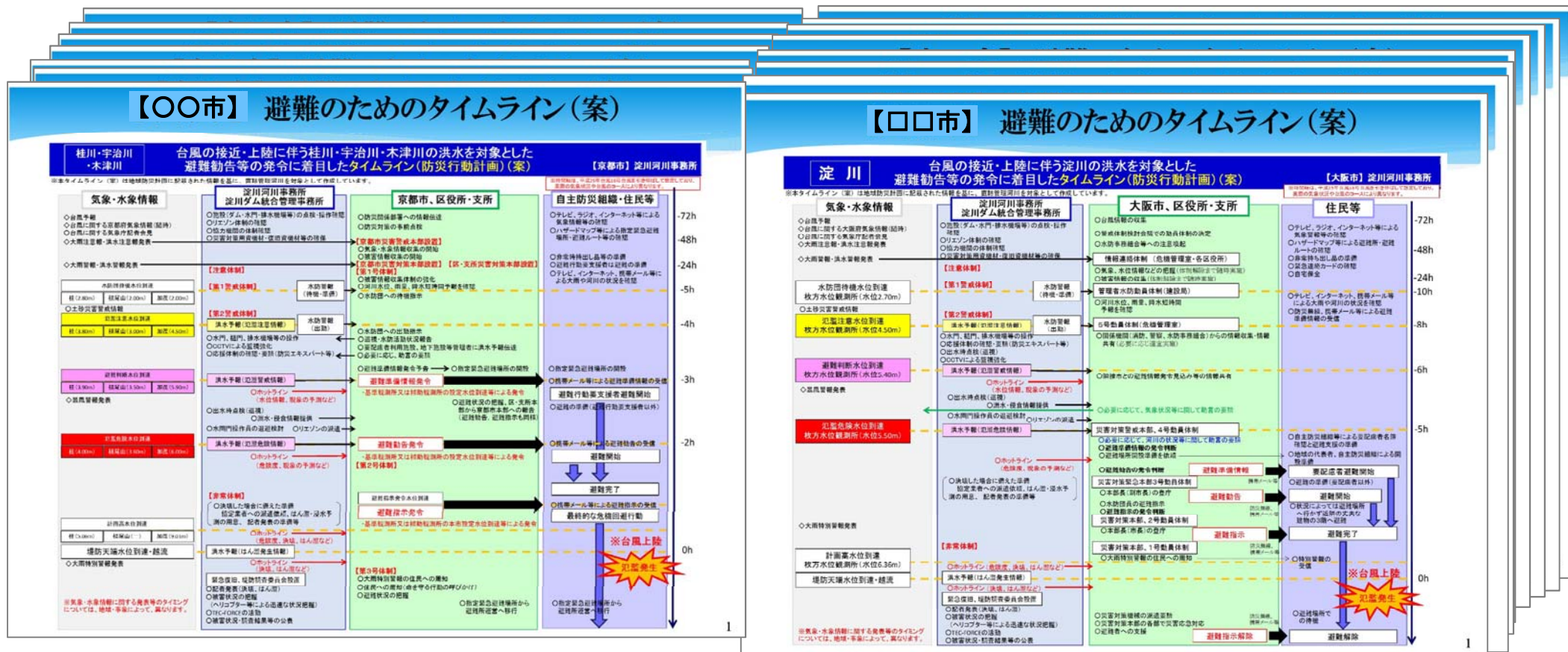
■ 排水施設の耐水化及び排水訓練の実施

- 排水施設の耐水化
- 排水検討及び排水訓練の実施

①平成28年度の活動内容

■避難のためのタイムライン(案)の作成

洪水時において市町が適切な避難勧告等を発令するために、各自治体と河川管理者等とで共有する避難のためのタイムライン(案)を作成しました。



※ タイムライン(案)は、実際に発生した洪水や訓練等を踏まえ記述内容を検証するなど、今後も熟成させていくものです。

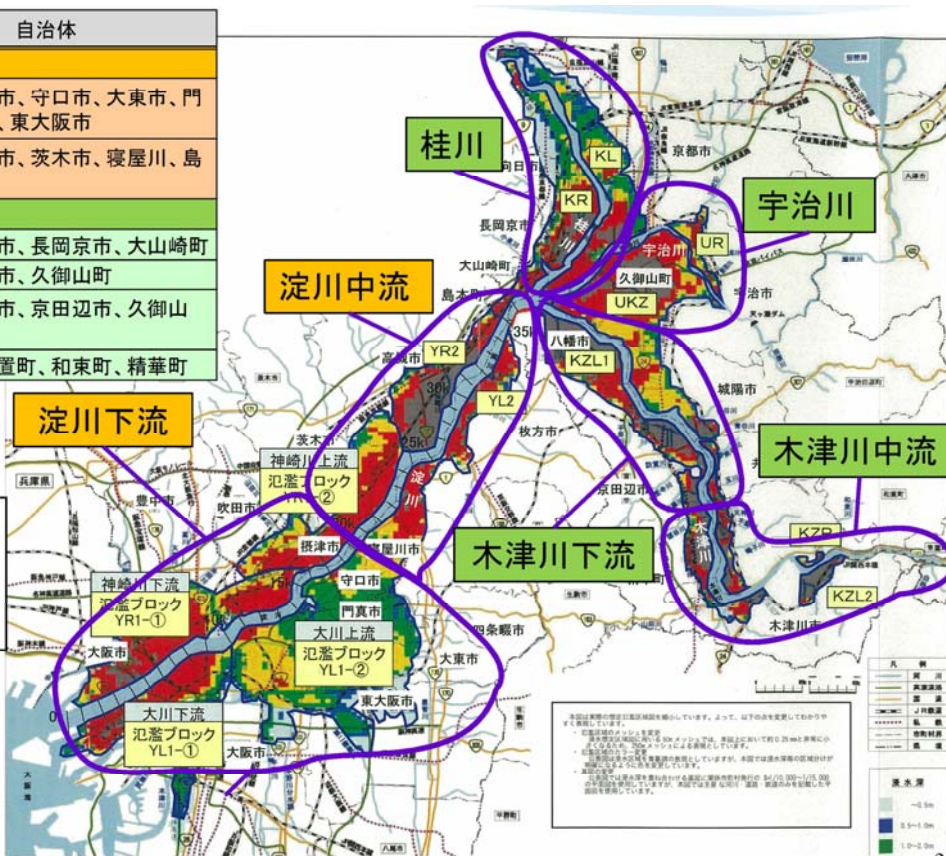
①平成28年度の活動内容

■避難勧告等の発令タイミングに関する調整・検討

避難のためのタイムライン(案)をより実用に即したものに改良するために、ブロック別会議を開催し、発令基準の考え方の再認識や避難勧告等の発令タイミングについて、近隣市町間での情報共有を図りました。

◆ブロック区分

ブロック区分	自治体
<大阪府域>	
淀川下流	大阪市、吹田市、守口市、大東市、門真市、摂津市、東大阪市
淀川中流	高槻市、枚方市、茨木市、寝屋川、島本町
<京都府域>	
桂川	京都市、向日市、長岡京市、大山崎町
宇治川	京都市、宇治市、久御山町
木津川下流	城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町
木津川中流	木津川市、笠置町、和束町、精華町



● 河川毎に、類似する氾濫区域を基本としてブロックを区分

◆避難勧告等の発令に関する情報共有

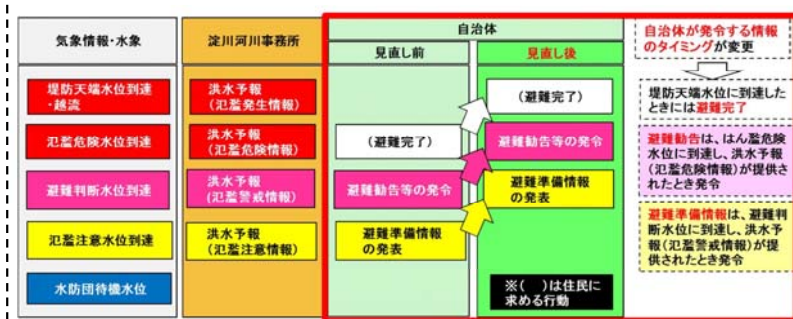


表 ブロック毎の避難勧告等の発令水位一覧表

自治体名	河川名	水位観測所	避難のためのタイムライン(案) (H28年度案定)			実運用上の発令基準 (H28年度)			避難勧告等の発令目安となる水位 (H27年度案定)			
			発令内容			発令内容			発令内容			
			避難準備 情報(m)	避難勧告 (m)	避難指示 (m)	避難準備 情報(m)	避難勧告 (m)	避難指示 (m)	基準	近 傍	避難準備 情報(m)	避難勧告 (m)
〇〇市	淀川	本川毛馬	-	-	-	-	-	-	○	7.1	7.3	9.8未満
		枚方	氾濫危険水位に到達後に判断	5.4	5.5	8.3	○	5.4	5.5	8.2未満		
△△市	淀川	枚方	4.5	5.4	5.5	4.5	5.4	5.5	○	5.5	5.8	8.3未満
□□市	淀川	枚方	4.5	5.4	5.5	5.4	5.5	8.38	○	5.5	5.8	8.2未満
▽▽市	淀川	枚方	4.5	5.4	5.5				○	5.5	5.8	8.2未満
◇◇市	淀川	枚方	5.4	5.5	状況に応じて判断	5.4	5.5	8.58	○	5.5	5.8	8.2未満
△△市	淀川	枚方	5.4	5.5	8.38(概算)	5.4	5.5	本位はなく 氾濫情報	○	5.8	5.8	8.5未満
□△市	淀川	枚方	観測不能水位 別添-様式	状況に応じて判断	状況に応じて判断	初案した後に避難準備情報等を発令する			○	6.1	6.2	9.7未満

①平成28年度の活動内容

■勉強会・研修会の例(1/2)

開催年月日	勉強会・研修会	開催時間・場所	内容
平成28年 7月17日(日)	長岡京市マイ防災マップ作成支援	9:00~12:00 城の里地区	まち歩き及び結果とりまとめ に関するオブザーバー
平成28年 9月4日(日)	京田辺市マイ防災マップ作成支援	9:00~12:00 新田辺東住宅公民館	「水害に関する基礎知識」の 説明

●長岡京市マイ防災マップ作成支援

長岡京市(城の里地区)におけるマイ防災マップの作成支援として、まち歩き及びまち歩き結果のとりまとめについて、水害協事務局が参加者からの質問に対して助言等を行いました。



●京田辺市マイ防災マップ作成支援

京田辺市(新田辺東住宅)におけるマイ防災マップの作成支援として、「水害に関する基礎知識」として、淀川水系の河川や流域、過去の被害状況、大川と中小河川における洪水特性の違いなどについて、水害協事務局より説明を行い、避難判断の際に重要となる知識であることを理解いただきました。



①平成28年度の活動内容

■勉強会・研修会の例(2/2)

開催年月日	勉強会・研修会	開催時間・場所	内容
平成28年 11月20日(日)	井手町防災訓練に係るクロス ロードゲーム	9:00~11:30 井手町自然休養村管 理センター	水害時等の避難について

●井手町防災訓練に係るクロスロードゲーム

地域住民の避難に関する防災意識の向上を目的として、井手町主催の避難訓練とあわせて、クロスロードゲームを行いました。

地域特性に応じた災害に関するテーマをクロスロードゲームに盛り込み、より現実的な避難について考えるきっかけとなり、活発な意見が出されました。



②平成29年度の活動予定

② 平成29年度の活動予定

■ 住民が適切に避難するための取組の推進

新しく公表した浸水想定区域図の情報等をもとに、水害時に住民が適切に避難できるよう以下の取組内容について検討支援を行います。

- ・想定浸水深の深い地域や家屋倒壊等氾濫想定区域などの情報をもとに、避難勧告等を発令すべき地域の設定に関する調整・検討
- ・訓練等の実施によるタイムラインの検証と改善

■ 適切な避難行動の実現に向けた取組	
○避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備【7】	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（H27.8）に準拠したマニュアル等の整備 ・想定浸水深の深い地域や家屋倒壊等氾濫想定区域^{※2}などの情報をもとに、避難勧告等を発令すべき地域の設定に関する調整・検討 (※2：家屋倒壊等氾濫想定区域とは、堤防決壊による洪水はん濫流や河岸侵食により家屋が倒壊する恐れがある区域であり、次期浸水想定区域図にて設定されるもの) ・避難勧告等の発令タイミングに関する調整・検討
○関係機関との情報共有体制の整備【8】	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令状況、避難所の開設状況など、関係機関と速やかに情報共有を行うための体制整備
○避難計画等の策定【9】	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体間における避難者の受け入れ等を踏まえた広域避難の検討 ・要配慮者や帰宅困難者等を対象とした避難計画の作成
○避難訓練の実施【10】	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水を想定した避難訓練の実施
○避難誘導体制の整備【11】	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や外国人観光客を含めた避難誘導体制の整備
■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	
○避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定【12】	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの策定 ・訓練等の実施によるタイムラインの検証と改善
○気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）【13】	<ul style="list-style-type: none"> ・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化 など

◆ ケーススタディ地区について

京都府域、大阪府域からそれぞれ1市区町のケーススタディ地区を選定し、適切な避難行動の実現に向けた取組（避難勧告等を発令すべき地域の設定に関する調整・検討）、避難勧告の発令に着目したタイムラインの改善に関する取組についての検討支援を行います。

② 平成29年度の活動予定

■まるごとまちごとハザードマップの整備

ハザードマップの普及浸透、危機意識の醸成、避難所等の認知度の向上を支援を行います。

背景・必要性

- 洪水ハザードマップの更なる普及浸透、住民等の水害に対する危機意識の醸成、避難所等の認知度の向上を図ることを目的として、生活空間である“まちなか”に水防災にかかる各種情報を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組を推進するため、平成18年に手引きを作成。（平成28年3月末現在、約1割の市町村（対象約1,300市町村）で実施）
- 平成27年9月関東・東北豪雨災害において、ハザードマップが十分に認知されておらず多くの逃げ遅れによる孤立者が発生したことや、平成28年8月北海道・東北地方を襲った一連の台風により甚大な人的被害が発生したことを踏まえ、まるごとまちごとハザードマップの取組をさらに促進するため、市町村と河川管理者等との役割分担を明確にし、取組の実施に係る検討や作業等の流れを具体化・詳細化するなど、市町村がより円滑に取組を進められるよう手引きを改定。
- あわせて、対象とする水害に内水、高潮を加えるとともに、JISの改正に伴う洪水の図記号を変更。また、これまでの取組の蓄積を事例集にとりまとめ、新たに追加。

水害協での進め方

背景

- これまでに設置した「まるごとまちごとハザードマップ」は142箇所（淀川河川事務所管内）
- 6月14日に、淀川河川事務所管内の浸水想定区域を想定最大規模の降雨へ見直し公表
- 6月19日には、まるごとまちごとハザードマップ実施の手引きの第2版が公表

対応

- 設置済みの142箇所のうち、浸想図の見直しにより想定浸水深が深くなる箇所を優先し順次更新。
- 新設については、未設置の自治体を優先に新設。

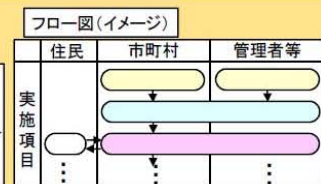
改定の概要

多発する浸水被害への対応を図るため、まるごとまちごとハザードマップの全国的な取組を推進する。

1. 実施に係る検討・作業等の流れの具体・詳細化

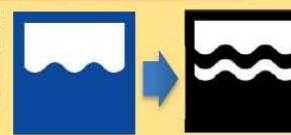
- 事前調査段階から設置、維持管理・活用の各段階の具体的な流れや留意点を具体・詳細化
- 各検討・作業における関係機関の役割分担が把握できるフロー図を記載

関係機関の役割分担	
単独実施	該当する関係機関がそれぞれ単独で実施する項目
分担実施	市町村が管理者等と連携・協力して実施する項目
共同実施	関係機関が共同で実施する項目



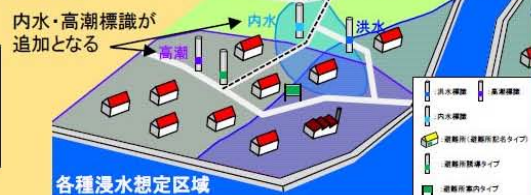
3. JISZ8210（案内用図記号）の改正に伴う図記号の変更

- JISZ8210（案内用図記号）の改正に伴い洪水の図記号を変更



2. 水防法改正に伴い内水・高潮を追加

- 内水と高潮の図記号を新たに追加（内水は、洪水に同様）



4. 取組の蓄積を事例集にとりまとめ新たに追加

- 住民との連携、視認性や地域特性に配慮した標識の設置事例、活用事例等の先進事例を追加



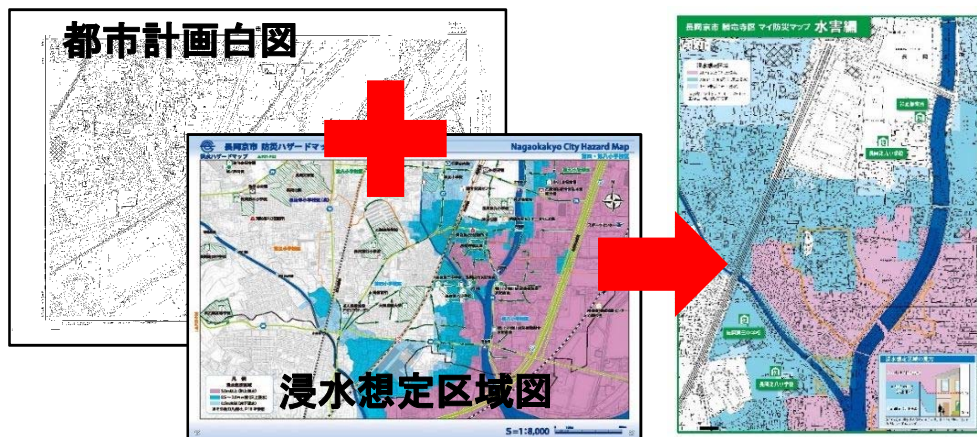
浸水想定区域を見直したことから、まるごとまちごとハザードマップの手引きが改訂されたことを踏まえ、順次整備していきます。

② 平成29年度の活動予定

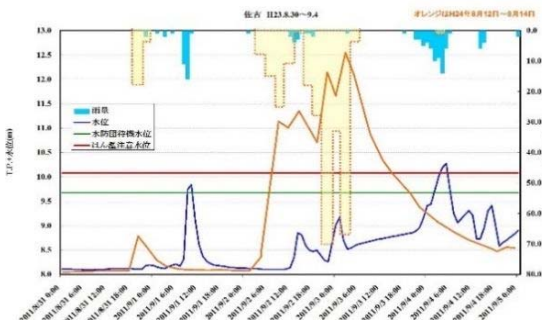
■ マイ防災マップ作成の支援

マイ防災マップの作成に向けた支援を行います。

① マップ作成の下図となる都市計画白図及び浸水想定区域図の基礎資料の作成



② 各水位観測所の避難判断に必要な水位及び降雨データの作成、水害等の基礎知識に関する資料の作成及び説明



災害情報の入手方法

避難情報の入手方法 (事前に登録が必要です)

- 京都市防災情報 京都市防災情報メールサービス <http://panasender.jp/youho-station.jp/kyoto-ma/in/>
- 京都府防災・避難情報 京都市防災情報メールサービス <http://panasender.jp/youho-station.jp/kyoto-ma/in/>
- 府から発信される災害情報の避難情報 防災メールサービス <http://www.jma-net.go.jp/kyoto/>
- 気象情報 京都府気象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/kyoto/>
- 河川の水位情報 国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
- 京都市河川防災情報 <http://chi.sibousai.pref.kyoto.jp/>

◆ これまでに作成されたマイ防災マップの例

京田辺市 新田辺東住宅 マイ防災マップ 水害編

マップ表面 → 避難場所、避難ルート等
マップ裏面 ↓ 避難情報等

自治会の決めごと

- 水害時の指定避難所は **田辺小学校** です。
- 避難が遅れた方は標高の高い建物(4階以上)へ緊急避難しましょう。 ※行先新田辺駅や、田辺中央病院は浸水の可能性があるため、避難の方針
- 避難行動は、徒歩**による移動を原則とします。
- 歩行が困難な方や高齢者の方は、**避難準備情報**が発令されたら、避難情報は自ら入手し、「避難を始めるさっか切」を参考に、自らしましょう。
- 表面の避難の推奨ルートを参考に、近隣の方と声をかけあっても構いません。

避難を始めるさっか切

※1 記録の水位に達していない場合でも、避難勧告からの情報にご注意下さい。
※2 避難勧告等は河川の水位だけでなく、増水がいつ発生しうる場合にも発生する可能性があります。

自治会	避難開始	避難準備	避難完了
新田辺東住宅	5.1m	6.0m	7.6m
新田辺西住宅	4.7m	5.9m	7.6m
新田辺南住宅	3.5m	4.5m	7.6m

非常持ち出し品の準備

【重要】あると便利なものではなく、「ないともったもの」を忘れずに

品名	備蓄場所	備蓄品	備蓄場所
現金	現金	現金	現金
貴重品	貴重品	貴重品	貴重品
薬	薬	薬	薬
食料	食料	食料	食料
飲料	飲料	飲料	飲料
衛生用品	衛生用品	衛生用品	衛生用品
防災用品	防災用品	防災用品	防災用品

水位・降雨の特性データ

災害情報の入手方法

② 平成29年度の活動予定

■ 各種研修会・勉強会等の開催の支援

地域住民や自治体職員の方々を対象として、水防災意識の全体的なレベル向上(底上げ)を目指した研修会・勉強会の開催を支援します。

実施内容

実施内容は、防災講演会、クロスロードゲーム、防災クイズ、防災マップ作成支援、ロールプレイング演習などを開催し、住民や市町の方々と行います。

◆ 研修会・勉強会メニューと主な対象者・概要・効果

メニュー	主な対象者	概要	得られる効果	備考
・防災講演会 ・水害に関する勉強会	地域住民(単位:市町、校区など)	水害や防災(避難等)をテーマとした講演会(講演者:河川管理者、防災NPO等)	水害や防災に関する基礎知識の習得	H21~26年度実施
・水害に関する研修会	行政関係者(市町職員など)	水害や防災をテーマとした研修会(講演者:河川管理者等)	水害や防災に関する、より実用的・実践的な知識の習得	H27年度実施
・クロスロードゲーム ・防災クイズ等	地域住民(単位:市町、校区、自治会など)	水害や防災に関するゲームやクイズ(進行役:河川管理者、防災NPO等)	防災(避難等)に関する、より実用的・実践的な知識の習得	H21~26,28年度実施
・防災マップ作成支援	地域住民(単位:自治会、校区など)	防災マップ基図(浸水想定区域等)の提供、住民のまち歩き運営補助等	地域特性を反映した防災マップの各戸配布 避難時における地域ルールの確立	H24~28年度実施
・ロールプレイング演習 ・図上訓練	行政関係者(市町職員など)	水害発生等を想定した、より実践的な演習・訓練	実運用時における課題等の抽出と修正 必要な技能・行動等の体験的な習得	H24,26年度実施(いずれも図上訓練)



淀川河川事務所HPより

② 平成29年度の活動予定

■ 各種協議会の開催予定

今年度の協議会等の開催は下記を予定しています。

